

11月16日

テーマ：「<sup>しつじ</sup>執事<sup>せんしゅつ</sup>の選出」

聖書箇所：<sup>しと</sup>使徒<sup>はたら</sup>の働き<sup>しょう</sup>6章<sup>せつ</sup>1～7節

◆今日のみことば

そこで、<sup>きょうだい</sup>兄弟<sup>なか</sup>たち。あなたがたの中から、<sup>みたま</sup>御霊<sup>ちえ</sup>と<sup>み</sup>知恵<sup>ひょうばん</sup>とに満ちた、<sup>よ</sup>評判<sup>ひと</sup>の良い人<sup>たち</sup>たち  
<sup>しちにん</sup>七人<sup>えら</sup>を選びなさい。私たちはその人<sup>ひと</sup>たちをこの仕事<sup>しごと</sup>に当たらせることにします。

<sup>しと</sup>使徒<sup>はたら</sup>の働き<sup>しょう</sup>6章<sup>せつ</sup>3節

◆メッセージ

イエスさまを信じる人が増えることは、うれしいですね。お弟子さんたちは、<sup>こころ</sup>心を<sup>あ</sup>合わせ、<sup>ちから</sup>力を<sup>あ</sup>合わせ、お祈りをし、<sup>いの</sup>伝道<sup>でんどう</sup>をしました。そして、<sup>ひと</sup>たくさん<sup>しん</sup>の人がイエスさまを信じるようになり  
ました。しかし、イエスさまを信じる人が増えると、<sup>こま</sup>困った<sup>お</sup>ことも<sup>しん</sup>起こりました。信者<sup>しん</sup>たちはみんな  
で助け合<sup>たす</sup>って暮<sup>あ</sup>らしていましたが、<sup>にんずう</sup>人数<sup>きゆう</sup>が急<sup>ふ</sup>に増えたので、<sup>た</sup>食べ物<sup>もの</sup>を<sup>おな</sup>同じ<sup>わ</sup>ように分けるのがむ  
ずかしくなったのです。

<sup>じかん</sup>時間をかけて、<sup>くば</sup>ていねいに<sup>こうへい</sup>配るなら、みんなに公平に  
ゆきわたります。でも、そうすれば、<sup>しと</sup>使徒<sup>しと</sup>たちは、  
<sup>いちにちじゅう</sup>一日中、<sup>さぎょう</sup>そのための作業<sup>しと</sup>をしていなければなりません。  
<sup>しと</sup>使徒<sup>しと</sup>たちは、イエスさまの<sup>ふくいん</sup>福音<sup>はな</sup>をお話<sup>だいいち</sup>しすることを第一  
にしなければなりませんから、<sup>せ</sup>みんなのお世話<sup>せ</sup>をする  
<sup>かかり</sup>係<sup>ひつよう</sup>が必要<sup>せ</sup>なのです。

そこで、みんなの中から、<sup>なか</sup>神さま<sup>かみ</sup>を<sup>こころ</sup>心から<sup>しん</sup>信じて、  
<sup>せいれい</sup>聖霊<sup>み</sup>に満たされ、<sup>かしこ</sup>賢<sup>そんけい</sup>くて、みんなから<sup>せ</sup>尊敬<sup>せ</sup>されている  
<sup>ひと</sup>人、ステパノ、ピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、

<sup>しちにん</sup>パルメナ、<sup>えら</sup>ニコラオの七人<sup>ひと</sup>が選ばれました。そして、この人<sup>よろこ</sup>たちが喜んでみんなのお世話<sup>せ</sup>をしたの  
で、<sup>しと</sup>使徒<sup>しと</sup>たちは、<sup>あんしん</sup>安心して<sup>かみ</sup>神さま<sup>つた</sup>のみことば<sup>つた</sup>を伝えることができるようになりました。そして、エ  
ルサレムでは、<sup>かみ</sup>神さま<sup>しん</sup>を<sup>ひと</sup>信じる人がますます増えました。

わたしたちも、この七人<sup>しちにん</sup>のように、<sup>かみ</sup>神さま<sup>しごと</sup>のお仕事<sup>てつだ</sup>のお手伝い<sup>ひと</sup>をする人<sup>ひと</sup>になれないでしょうか。  
イエスさまのことを伝えるためには、<sup>はたら</sup>いろいろな働き<sup>ひと</sup>をする人<sup>ひつよう</sup>が必要です。イエスさまを伝えるた  
めに、<sup>つた</sup>どんなことができるでしょうか。あなたはどんなお手伝い<sup>つた</sup>ができるでしょうか。どんなこと  
をすれば<sup>よろこ</sup>喜ばれるでしょうか。考えてみましょう。

◆お祈り

「イエスさまのことを伝えていくために、わたしも神さまのために<sup>てつだ</sup>お手伝い<sup>てつだ</sup>をすることができますように。  
<sup>かみ</sup>神さま<sup>てつだ</sup>のお手伝い<sup>もち</sup>をするためにわたしを<sup>もち</sup>用いてください。そして、イエスさま  
を<sup>しん</sup>信じる人<sup>ひと</sup>が<sup>お</sup>たくさん<sup>お</sup>起こされますように。」

(大和郡山めぐみ教会牧師 正村献三)

